資料１

福部町総合支所「鳥取市新市域振興ビジョン」推進計画　進捗チェック状況

項目名	事業概要	目標【基本計画・施策】	推進期間 短期 ～H29年度	推進期間 中期 ～R元年度	推進期間 長期 ～R5年度	R元年度 実施内容	R元年度 予算額(千円)	R元年度 決算額(千円)	R元年度 目標達成度	R元年度 事業の方向	中期(～R元年度)における総括 成果(何をどれだけ)	中期(～R元年度)における総括 次年度以降への課題・方向性	R2年度 実施内容	R2年度 予算額(千円)	R2年度 決算額(千円)	R2年度 目標達成度	R2年度 事業の方向	R3年度 実施内容	R3年度 予算額(千円)	R3年度 決算額(千円)	R3年度 目標達成度	R3年度 事業の方向	R4年度 実施内容	R4年度 予算額(千円)	R4年度 決算額(千円)	R4年度 目標達成度	R4年度 事業の方向	R5年度 実施計画	R5年度 実施内容	R5年度 予算額(千円)	R5年度 決算額(千円)	R5年度 目標達成度	R5年度 事業の方向	長期(～R5年度)における総括 成果(何をどれだけ)	長期(～R5年度)における総括 今後の課題・方向性	備考	担当課(支所・本課)
①防災対策	河川改修や内水排除施設の整備など治水対策の促進を図り、浸水被害のない安全で安心な暮らしの確保に努める。	治水対策を図り、安全で安心な暮らしを確保する【地域防災力の向上】	○塩見川河川改修事業の実施計画区間の早期完成	○未着手区間の実施計画策定と整備促進	○河川整備計画の目的である流下能力向上に向けた整備促進、整備手法の変更による工期短縮及び暫定断面での整備により早期の流下能力向上効果を得る。	支所付近より上流部の改修計画区間の実施設計等計画作成、鶴溪合流点上流から支所付近までを暫定断面での改修を進める。駅前付近の整備手法の変更による工期短縮を検討。				3.現状維持	鶴溪川合流点付近整備が概ね完了(鶴溪川左岸工損事後調査、完了、鶴溪川右岸借地復旧工)	鶴溪合流点より上流の暫定断面での改修を進める。塩見橋の完成断面を前提とした整備計画策定、鶴溪川放水路整備及び関連道路整備計画の策定	支所付近より上流部の改修計画区間の実施設計等計画作成、鶴溪川合流点上流から支所付近までを暫定断面での改修を進める。駅前付近の整備手法の変更による工期短縮を検討。				B.概ね達成	・支所付近より上流部の改修計画区間の実施設計等計画作成、鶴溪川合流点上流から支所付近までを暫定断面での改修を進める。塩見橋架け替えを当初より完成断面に合わせた規模での整備に変更することによる工期短縮を検討し、説明会を実施。				3.現状維持	B.概ね達成	・支所付近より上流部の改修計画区間の実施設計等計画作成、鶴溪川合流点上流から支所付近までを暫定断面での改修を進める。鶴溪川放水路の整備に伴う道路網など周辺整備の検討。				3.現状維持	・支所付近より上流部の改修計画区間の実施設計等計画作成等、工事を進める。 ・鶴溪川合流点上流から支所付近までを暫定断面での改修を進める。 ・鶴溪川放水路の詳細設計に向けた調査、説明を実施した。	・支所付近より上流部の改修計画区間の実施設計等計画作成等、工事を進める。 ・鶴溪川合流点上流から支所付近までを暫定断面での改修を進める。 ・鶴溪川放水路の詳細設計を進める。				B.概ね達成	3.現状維持	鶴溪川合流点～塩見橋区間の土質改良、周辺用地買収が進展した。	鶴溪川合流点より上流の暫定断面での改修を進める。塩見橋の完成断面を前提とした整備、鶴溪川放水路整備及び関連道路整備計画の策定		都市環境課 福部町総合支所
			○塩見川河川改修工事の整備状況に併せ、ポンプ車設置場所の検討	○塩見川河川改修工事の整備状況に併せ、ポンプ車設置場所の検討	－	継続的なポンプ車稼働のための業者委託を行う。また、計画的な操作研修を実施するとともに塩見川改修計画に併せポンプ車設置場所の検討				3.現状維持	排水ポンプ車操作者の人材育成をする予定だったが、ポンプ車の移動に大型免許が必要であり、将来的に職員で動かすことが困難になることが予想されたため初期対応から業者へ委託。	課題として、気象情報等から水位の上昇を早めに予測し、委託業者と連携を密にすることが重要となる。	・鳥取県より借用しているポンプ車が更新。(6月) 継続的なポンプ車稼働のため業者委託を行う。また、計画的な操作研修を実施するとともに塩見川改修計画に併せポンプ車設置場所の検討。				B.概ね達成	・継続的なポンプ車稼働のため業者委託を行う。また、計画的な操作研修を実施するとともに塩見川改修計画に併せポンプ車設置場所の検討。				3.現状維持	B.概ね達成	・継続的なポンプ車稼働のため業者委託を行う。また、計画的な操作研修を実施するとともに塩見川改修計画に併せポンプ車設置場所の検討。				3.現状維持	継続的なポンプ車稼働のため業者委託を行う。また、計画的な操作研修を実施するとともに塩見川改修計画に併せポンプ車設置場所の検討。	・継続的なポンプ車稼働のため業者委託を行う。また、計画的な操作研修を実施するとともに塩見川改修計画に併せポンプ車手法を検討した。				B.概ね達成	3.現状維持	初期対応から外部委託することで支所の職員減に対応した体制を整備できた。	暫定整備期間は現在の排水ポンプ車による排水で対応可能であるが、現在想定されている最終完成形(概ね30年後)の排水方法を検討することを要する。		都市環境課 福部町総合支所
				○内水排除に関する基本計画を検討し塩見川河川改修事業の整備状況等併せ実施計画を策定	○塩見川河川改修事業の整備状況に併せ、内水排除施設の整備を検討	塩見川改修計画に併せ内水排除計画を検討				3.現状維持		実施計画策定には県が塩見川改修に係る福部町駅前地区の改修計画を確定するため、住民へ説明が必要である。県へ計画調整を要望しており、改修計画の周知を待って内水排除計画などを策定し住民に周知を行う	・塩見川改修計画に併せ内水排除計画を検討。 ・堂頭川増水時強制(緊急)排水を業者へ委託。				B.概ね達成	・塩見川改修計画に併せ内水排除計画を検討。 ・堂頭川増水時強制(緊急)排水を業者へ委託。				3.現状維持	B.概ね達成	・塩見川改修計画に併せ内水排除計画を検討。 ・堂頭川増水時強制(緊急)排水を業者へ委託。				3.現状維持	・塩見川改修計画に併せ内水排除計画を検討。 ・堂頭川増水時強制(緊急)排水を業者へ委託。	・塩見川改修計画に併せ内水排除計画を検討。 ・堂頭川増水時強制(緊急)排水を業者へ委託。				B.概ね達成	3.現状維持	・塩見川改修計画に併せ内水排除計画を検討した。 ・堂頭川増水時強制(緊急)排水を業者へ委託。	暫定整備期間は現在の排水ポンプ車による排水で対応可能であるが、現在想定されている最終完成形(概ね30年後)の排水方法を検討することを要する。		都市環境課 福部町総合支所
②産業・観光振興	鳥取砂丘を中心にジオエリアを観光資源として活用し、今までの観光農業を魅力的に発展させながら、農産物加工など新たな観光の創設し、特色を活かした地域情報を全国発信する。	ジオサイトを有効活用する【滞在型観光の推進】	○近隣のジオサイトと連携	○新たな観光ルートの検討	○観光資源の開発と利活用を促し、特色ある地域情報として全国発信	ジオスポットなどを巡る継続事業や新たな観光ルートの検討など取り組みの継続実施 R元.10.20　第3回鳥取すごい！ライド実施　参加者約1,000人				3.現状維持	鳥取すごい！ライドの実施などジオスポットなどを巡る事業や新たな観光ルートの検討など取り組み	地域資源を活用し、ジオツーリズムを展開し特色ある地域情報として全国発信	鳥取市青谷海岸から京丹後市経ヶ岬を結ぶ山陰海岸ジオパークトレイルが全線開通した。 コース内には山湯山～多鈴ヶ池～砂丘西側～岩戸海岸～駟駛山といった見どころが含まれ、周辺事業者と連携したイベントを実施した。				A.達成	・山陰海岸ジオパークトレイルコースを活用し、ポイント獲得ウォークを山陰海岸ジオパーク推進協議会と連携して実施した。				2.改善継続	A.達成	・山陰海岸ジオパーク推進協議会と連携し、山陰海岸ジオパークトレイルコースの普及啓発に努めた。	0	0		2.改善継続	・山陰海岸ジオパーク推進協議会と連携し、山陰海岸ジオパークトレイルコースの普及啓発に努める。	山陰海岸ジオパークトレイルコースを活用したポイント獲得ウォークを山陰海岸ジオパーク推進協議会と連携して実施し、コースの普及啓発に努めた。 また、トレイル利用者がコース上で不具合箇所を発見した際に通報できるよう、観光ジオパーク推進課の連絡先と、スマートフォンによる通報システムのQRコードを掲載したシールを作成しコース上の看板等に表示した。		0	20		2.改善継続	山陰海岸ジオパーク推進協議会と協力し、鳥取市から京丹後市までを横断するトレイルルートを整備したとともに、スマートフォンとで行うイベントの開催、コースマップの作製などにより普及・啓発を行った。	引き続き利用者が快適に歩けるよう必要に応じてトレイルコースの不具合への対応を行っていくとともに、山陰海岸ジオパーク推進協議会と連携しながらさらなる利用者増加のための取り組みを検討したい。		観光・ジオパーク推進課 地域振興課 福部町総合支所
		地域の特色を活かした産業・観光の振興を図る【農林水産業の振興】	○観光梨狩り園の活性化を図るため課題・問題を把握	○活性化策の検討と生産者の意思統一	○活性化策の実践と検証を行い、魅力のある梨狩り園を全国PR	多鈴ケ池周辺整備検討委員会による周辺整備計画の支援等				3.現状維持	多鈴ケ池周辺整備検討委員会による周辺整備計画の支援等	多鈴ケ池周辺整備検討委員会を鳥取砂丘未来会議の多鈴ケ池ワーキンググループとして位置づけ周辺整備計画の支援等を行う	鳥取砂丘未来会議内に多鈴ケ池ワーキンググループを設置し、多鈴ケ池周辺整備基本構想を策定した。 構想期間を10年間とし、今後、整備に取り組む。				A.達成	・多鈴ケ池周辺基本構想に基づき、多鈴ケ池利用拠点に位置付けた「さんこうえん」の公衆用トイレの改修を支援し、 ・浜湯山・多鈴ヶ池活性化委員会が取り組む周遊のための木道整備を支援した。				2.改善継続	A.達成	・多鈴ケ池周辺基本構想に基づき、浜湯山・多鈴ヶ池活性化委員会が取り組む周遊のための木道整備を支援した。	10,362	9,900		2.改善継続	・多鈴ケ池周辺基本構想に基づき、浜湯山・多鈴ヶ池活性化委員会が取り組む周遊のための木道整備を支援する。	多鈴ケ池周辺整備基本構想に基づき、浜湯山・多鈴ヶ池活性化委員会が取り組む周遊のための木道整備を支援した。	16,920	16,920		A.達成	2.改善継続	令和2年度に多鈴ヶ池周辺の活性化を目的とした「多鈴ヶ池周辺整備基本構想」を策定し、令和3年度以降は浜湯山・多鈴ヶ池活性化委員会が構想に基づき行った。東屋、ウッドデッキ、木道約200mの整備を支援した。	多鈴ケ池周辺整備基本構想に基づき、浜湯山・多鈴ヶ池活性化委員会の整備を支援することで、多鈴ヶ池周辺の周遊性、利用環境の向上を図る。		観光・ジオパーク推進課
			○らっきょう生産の課題・問題を前提とした生産者の意識統一	○らっきょう産地維持のための施策を展開	○畑の景観・花など多様な視点に付加価値を付け、魅力的な観光資源に育成し全国PR	らっきょう生産振興大会助成及びらっきょうビジョン研究会による消費者ニーズの調査	242	242		3.現状維持	・らっきょう生産振興大会助成 ・らっきょう将来ビジョン研究会運営補助	・若手生産者によるらっきょう将来ビジョン研究会による消費者ニーズ等市場調査及び市内小学校にらっきょうプランター贈呈予定 ・らっきょうの自動販売機設置等	・市内小学校にらっきょうプランター贈呈。 ・らっきょう自動販売機設置に向け設置場所、財源等を検討				A.達成	・市内小学校(浜坂小学校)にらっきょうプランター贈呈。 ・らっきょうを使用した新商品開発に向け検討。				3.現状維持	B.概ね達成	・市内小学校(岩倉小学校)にらっきょうプランター贈呈。 ・らっきょうをPRする動画作成に向け検討。				3.現状維持	・市内小学校にらっきょうプランター贈呈。 ・販売機会拡大を図るため、らっきょうをPRする動画を作成に向けて検討。	・市内小学校(美保南小学校)にらっきょうプランター贈呈。 ・らっきょうをPRする動画作成に向け検討。	50	49		B.概ね達成	3.現状維持	・市内小学校へラッキョウのプランター贈呈によるPRを行った。 動画作成、自動販売機による販売等の知名度の向上手法を検討した。	・市内小学校にらっきょうプランター贈呈予定 ・らっきょうの自動販売機設置等 ・PR動画の作成		農政企画課 福部町総合支所
			○特産品化を前提とした農産物をJAや農家と共同で選定	○農家への生産奨励と特産品の加工品開発や販売促進	○地域特産品、鳥取砂丘関連産品としてPR	福部地域の農家の生産意欲の向上につながるアイデア館運営を行った。(アイデア館祭り等の実施) ・岩戸港海女組と共同で「大根と茎わかめの佃煮」を商品開発し販売機会の拡大を図った。	200	200		3.現状維持	・アイデア館運営協議会によるアイデア館運営管理及びアイデア館祭りの実施 ・岩戸港海女組と共同で「大根と茎わかめの佃煮」を商品開発し販売機会の拡大を図った。	・福部地域の農家の生産意欲の向上につながるアイデア館運営を行う。 ・引き続き商品開発等による販売機会拡大を図る。	・アイデア館管理運営協議会によるアイデア館運営管理を行った。 ・岩戸港海女組と共同で商品開発した「大根と茎わかめの佃煮」販売機会の拡大を図った。				A.達成	・アイデア館管理運営協議会によるアイデア館運営管理を行った。 ・岩戸港海女組と共同で商品開発した「大根と茎わかめの佃煮」販売機会の拡大を図った。				3.現状維持	B.概ね達成	・アイデア館管理運営協議会によるアイデア館運営管理を行った。 ・岩戸港海女組と共同で商品開発した「大根と茎わかめの佃煮」販売機会の拡大を図った。				3.現状維持	・アイデア館管理運営協議会によるアイデア館運営管理。 ・岩戸港海女組と共同で商品開発した「大根と茎わかめの佃煮」販売機会の拡大を図る。	・アイデア館管理運営協議会によるアイデア館運営管理及びアイデア館祭りの実施 ・トットリ・アフトビア協会によるとっとりふるさと宅配便に商品供給することで知名度向上を図った。				B.概ね達成	3.現状維持	・アイデア館管理運営協議会によるアイデア館運営管理及びアイデア館祭りの実施 ・トットリ・アフトビア協会によるとっとりふるさと宅配便に商品供給することで知名度向上を図った。	・福部地域の農家の生産意欲の向上につながるアイデア館運営を行う。		福部町総合支所

福部町総合支所 「鳥取市新市域振興ビジョン」推進計画　進捗チェック状況

項目名	事業概要	目標【基本計画・施策】	推進期間 短期 ～H29年度	推進期間 中期 ～R元年度	推進期間 長期 ～R5年度	R元年度 実施内容	R元年度 予算額(千	R元年度 決算額(千	R元年度 目標達成度	R元年度 事業の方向	中期(～R元年度)における総括 成果(何をどれだけ)	中期(～R元年度)における総括 次年度以降への課題・方向性	R2年度 実施内容	R2年度 予算額(千	R2年度 決算額(千	R2年度 目標達成度	R2年度 事業の方向	R3年度 実施内容	R3年度 予算額(千	R3年度 決算額(千	R3年度 目標達成度	R3年度 事業の方向	R4年度 実施内容	R4年度 予算額(千	R4年度 決算額(千	R4年度 目標達成度	R4年度 事業の方向	R5年度 実施計画	R5年度 実施内容	R5年度 予算額(千	R5年度 決算額(千	R5年度 目標達成度	R5年度 事業の方向	長期(～R5年度)における総括 成果(何をどれだけ)	長期(～R5年度)における総括 今後の課題・方向性	備考	担当課(支所・本課)
③交通対策	砂丘周辺で発生する交通渋滞を緩和するため、現在行っている施策をより効果的なものとして充実させる。	鳥取砂丘周辺の交通渋滞を緩和する 【生活基盤の充実】 【商業・サービス業の振興】	○誘導ルートである県道(観光道路)改良工事の促進と早期完成	○山陰近畿自動車道の新ICを含めた砂丘周辺の誘導ルートを検討	○誘導ルートの検討結果に基づき必要な施策を実施													・平成28年度で廃止されている項目				5.休止、廃止、終了					5.休止・廃止・終了					5.休止・廃止・終了				都市企画課 福部町総合支所
			○利用者が分かりづらい福部IC付近の誘導案内の見直し	○誘導ルートの検討と併せたり砂丘周辺道路の誘導案内の見直し	○臨時案内を含め、観光客が分かり易い誘導案内対策の実施	・臨時案内看板及び交通誘導員の配置 ・周辺案内看板整備及び砂丘茶文差点周辺整備の要請				3.現状維持			ゴールデンウィーク期間中は砂丘駐車場閉鎖に伴う迷惑駐車防止のための対策と新型コロナ感染防止啓発を実施した。 ・臨時案内看板及び交通誘導員の配置				A.達成	2.改善継続	・ゴールデンウイーク期間中は1日当たり最大59名の交通誘導員を配置し、コロナ感染症防止対策を講じつつ、渋滞対策を実施した。 ・シルバーウィークと11月の連休では、砂丘周辺の主要交差点に交通誘導員5名程度を配置し、小規模な渋滞対策を実施した。				A.達成	2.改善継続	・ゴールデンウイーク期間中は1日当たり最大85名の交通誘導員を配置し、コロナ感染症防止対策を講じつつ、渋滞対策を実施した。	20,290	17,919	A.達成	2.改善継続	・ゴールデンウイーク期間中は1日当たり最大59名の交通誘導員を配置し、渋滞対策を実施する。	・ゴールデンウイーク期間中は1日当たり最大59名の交通誘導員を配置し、渋滞対策を実施した。 ・誘導経路についてHP,チラシ等で事前に広報を行った。	17,432	14,589	A.達成	2.改善継続	・臨時案内看板及び交通誘導員の配置 ・HP、チラシ等での広報	・臨時案内看板及び交通誘導員の配置 ・砂丘西側通行規制区間の案内 ・HP、チラシ等での広報		観光・ジオパーク推進課 福部町総合支所
			○現行臨時駐車場の継続的確保	○新たな臨時駐車場の確保	○臨時駐車場を含めた全駐車場の効率的利用方法を確立	臨時駐車場の確保 ・オアシス広場 ・岩戸 ・梨狩直売所				3.現状維持			臨時駐車場の確保 ・オアシス広場 ・岩戸 ・梨狩直売所				A.達成	2.改善継続	同　上				A.達成	2.改善継続	・砂丘商店街の既存の駐車場(1045台)に加え、オアシス広場(800台)と岩戸海岸駐車場(200台)を臨時駐車場とし、臨時バス等を運航して渋滞対策を実施した。	6,996	6,244	A.達成	2.改善継続	・砂丘商店街の既存の駐車場(1045台)に加え、オアシス広場(800台)と岩戸海岸駐車場(200台)を臨時駐車場とし、臨時バス等を運航して渋滞対策を実施する。	・砂丘東側では砂丘商店街の既存の駐車場(1045台)に加え、オアシス広場(800台)と岩戸海岸駐車場(200台)を臨時駐車場とし、臨時バス等を運航して渋滞対策を実施した。 ・砂丘西側では既存駐車場520台に加え、田砂丘パレス駐車場(300台)を臨時駐車場とした。さらに中国運輸局駐車場(300台)、中央病院駐車場(400台)を臨時駐車場とし、臨時バス等を運行し渋滞対策を実施した。	5,645	4,514	A.達成	2.改善継続	・砂丘東西で臨時駐車場を開設、また臨時バス等を運行	・砂丘東西で臨時駐車場を開設、また臨時バス等を運行		観光・ジオパーク推進課 福部町総合支所
④教育のあり方	福部小・中学校の将来を見据えた学校の在り方について今後も議論を深め、地域が願う教育の在り方を実現するため、地域と学校が一体となって教育環境の改善を行う。	幼・小・中学校10年間の一貫校とする 【教育の充実・郷土愛の醸成】	○実現に向け具体的な行動	○一貫校としての教育の検証及び環境整備の実施	○一貫校としての教育の検証及び環境整備の実施	H30年4月に開校した一貫校「鳥取市立福部未来学園」の学校運営について、教師、保護者、地域が協働して進めていくために「学園運営協議会」を通して将来を見据え議論を深めていく。				A.達成	3.現状維持	H30年4月に開校した一貫校「鳥取市立福部未来学園」について、「学園運営協議会」を通して、将来を見据えた学園運営のあり方や、学園憲章の制定などについて協議を行った。	令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、学園、地域、行政等が協働で企画、運営して実施していた「らっきょう花マラソン」、「町民運動会」、「ふくべ公民館まつり」など各種イベンや行事が軒並み中止となった。そのため2年度は学校と地域の情報共有、協力関係が後退しないよう、中止などを決定する際は必ず連絡会議を開催するなどして合意形成を図るなどの調整に努めた。				B.概ね達成	3.現状維持	・令和3年度も新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、学園、地域、行政等が協働で企画、運営して実施していた「らっきょう花マラソン」、「町民運動会」、「ふくべ公民館まつり」など各種イベンや行事が軒並み中止となった。そのため3年度は学校と地域の情報共有、協力関係が後退しないよう、中止などを決定する際は必ず連絡会議を開催するなどして合意形成を図るなどの調整に努めた。				B.概ね達成	2.改善継続	・令和4年度も新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、学園、地域、行政等が協働で企画、運営して実施していた「らっきょう花マラソン」、「町民運動会」など各種イベンや行事が中止となったが、「ふくべ公民館まつり」実施の際は学校と地域の情報共有を図りながら調整に努めた。				B.概ね達成	3.現状維持	・今後も「学園運営協議会」を通して、地域の特色を生かし魅力ある学園づくりを推進するために議論を深めていく。	・令和5年度は新型コロナウイルスの5類移行もあり、コロナ前の生活に戻りつつあり各種イベントや行事も再開されており、学園・地域・行政が情報共有を図りながら「町民運動会」「ふくべ公民館まつり」など実施した。			A.達成	3.現状維持	コロナ禍であったため、学園、地域、行政等が協働で企画、運営して実施していた「らっきょう花マラソン」、「町民運動会」、「ふくべ公民館まつり」など各種イベンや行事が中止となる場合にも、学校と地域の情報共有、協力関係が後退しないよう、連絡会議を開催するなどして合意形成を図るなどの調整に努めた。	引き続き「学園運営協議会」を通して、地域の特色を生かし魅力ある学園づくりを推進するために議論を深めていく。		学校教育課 福部町総合支所
			○学校運営協議会の設立	○学校運営協議会への支援	○学校運営協議会への支援																																	
		地域住民が関わるコミュニティスクールとして運営する 【教育の充実・郷土愛の醸成】	○住民が願うあるべき学校の目標設定	○住民意識の向上と積極的参加	○まちづくりに繋がる施策を展開																																	
⑤ファシリティマネジメントの推進	鳥取市公共施設の経営基本方針に沿って、支所、コミュニティセンターや中学校などの市有施設の適切な管理と効率的な利活用を図る。	総合支所及びコミュニティセンターの整備等 【ファシリティマネジメントの推進】		○支所庁舎の耐震化工事及びコミュニティセンター複合化工事の推進	○複合化された支所・コミュニティセンターの効率的な運用を図る	支所庁舎の耐震化工事の完了およびコミュニティセンター複合化工事の開始。				A.達成	3.現状維持	・支所庁舎の耐震化工事をR元年10月末に完了し12月に新庁舎で業務開始。 ・コミュニティセンター複合化工事の開始(R2年3月)。	・R2年10月に支所庁舎の耐震化及び、コミュニティセンターとの複合化工事が完了し、計画していた工事は全て完了した。(12月から業務を開始。)。支所周辺に行政機能の集約を行った。				A.達成	3.現状維持	・コミュニティセンター複合化工事がR2年10月末に完成予定。				A.達成	5.休止、廃止、終了	・行政機能の集約された複合化施設として運用を行った。				A.達成	5.休止・廃止・終了					5.休止・廃止・終了	R2年10月に支所庁舎の耐震化及び、コミュニティセンターとの複合化工事が完了し、計画していた工事は全て完了した。(12月から業務を開始。)。支所周辺に行政機能の集約を行った。	引き続き、行政機能の集約された複合化施設として運用を行う。		財産経営課 福部町総合支所 教育総務課
			○旧コミュニティセンター及び町民体育館の解体撤去後の利用方法を検討	○旧コミュニティセンター及び町民体育館の解体撤去後の利用計画を策定・実施	○旧コミュニティセンター及び町民体育館の解体撤去後の跡地利用計画について検討					A.達成	3.現状維持	・関係団体への意向アンケート調査を実施 ・関係各課と協議	・解体撤去後の跡地利用策について関係各課でのワーキングなど協議を継続し、計画を策定・実施する。	・跡地利用の具体的な検討に入るためには、その前提となる解体撤去の緊急性、優先度についての精査が必要であるため、経過観察中。				C.未達	2.改善継続	・跡地利用の具体的な検討に入るためには、その前提となる解体撤去の緊急性、優先度についての精査が必要であるため、経過観察中。				C.未達	2.改善継続	・跡地利用の具体的な検討に入るためには、その前提となる解体撤去の緊急性、優先度についての精査が必要であるため、引き続き経過観察中。				C.未達	2.改善継続	・跡地利用の具体的な検討に入るためには、その前提となる解体撤去の緊急性、優先度についての精査が必要であるため、引き続き経過観察する。	・跡地利用の具体的な検討に入るためには、その前提となる解体撤去の緊急性、優先度についての精査が必要であるため、引き続き経過観察中。				C.未達	2.改善継続	解体撤去の緊急性、優先度についての精査を見据えながら引き続き経過観察中。	解体時期が明確となった段階で、跡地利用策について関係各課などで協議し、計画策定を行い実施していく。		
			○中学校校舎の空き教室の利用方法を検討	○中学校校舎の空き教室の利用計画を策定・実施	中学校校舎の空き教室の利活用について勉強会立ち上げの検討					A.達成	3.現状維持	関係課、学校と利活用について協議。管理棟の一部を学校支援組織が使用することとした	学校とも協議しながら学校支援組織の中学校校舎の空き教室の利用について調整、支援	・継続して管理棟の一部を学校支援組織が使用中。				A.達成	3.現状維持	・継続して管理棟の一部を学校支援組織が使用している。				A.達成	3.現状維持	・継続して管理棟の一部を学校支援組織が使用している。				A.達成	3.現状維持	・継続して管理棟の一部を学校支援組織が使用する。	・継続して管理棟の一部を学校支援組織が使用している。				A.達成	3.現状維持	引き続き管理棟の一部を学校支援組織が使用していくことになった。	引き続き学校とも協議しながら学校支援組織の中学校校舎の空き教室の利用について調整、支援していく。		
⑥地域内情報伝達の整備	地域コミュニティ活動を円滑に行うため、地域内情報伝達設備を整備する地域への支援を行う。	地域及び行政情報の伝達 【協働のまちづくりの推進】		○各集落の情報通信手段の決定・施行を支援	○各集落の情報通信設備の運用を支援	各集落の情報通信手段の決定を受け通信設備を整備し、運用方針を定める。				B.概ね達成	3.現状維持	16自治会で整備を行うとともに、運用方針を作成、H2年2月から音声告知端末の運用を開始。	残り1自治会の整備 伝達設備の運用を支援	2つの集落が整備を行った。この結果、21集落のうち18集落が整備を完了した。				A.達成	3.現状維持	・予定していた集落の整備は前年度で完了しており、新たな整備はなかった。				A.達成	3.現状維持	・予定していた集落の整備は令和2年度で完了しており、新たに転入された2集落3世帯への補助を行った。本補助は令和4年度で終了。				A.達成	5.休止・廃止・終了					5.休止・廃止・終了	予定していた集落の整備は令和2年度で完了し、補助制度があった令和4年度までは新たに転入された世帯の集落に対し補助を行った。	本補助は令和4年度で終了。		福部町総合支所
⑦防犯対策	通学路等に防犯灯を設置するまちづくり協議会を支援する。	防犯灯の設置 【防犯・交通安全対策の充実】		○町内に計画的に防犯灯を設置するまちづくり協議会を支援	○町内に計画的に防犯灯を設置するまちづくり協議会を支援	集落間の通学路に計画的に防犯灯を設置するまちづくり協議会を支援				A.達成	3.現状維持	集落間の通学路に防犯灯を42基設置	残り1基の設置	残り2基を設置し、計画していた全42基の設置が完了した。				A.達成	3.現状維持	・予定していた防犯灯の設置は前年度で完了しており、新たな整備はなかった。				A.達成	3.現状維持	・予定していた防犯灯の設置は令和2年度で完了しており、新たな整備はなかったが、維持管理を行った。				A.達成	3.現状維持	・予定していた防犯灯の設置は完了しているが、引き続き維持管理を行う。また、新たな整備要望があれば対応する。	・予定していた防犯灯の設置は令和2年度で完了しており、新たな整備はなかったが、維持管理を行った。			A.達成	3.現状維持	計画していた全42基の設置は令和2年度に完了し、維持管理も行った。	予定されていた設置は完了したが、新たな整備要望があれば対応し、維持管理についても引き続き行う。		福部町総合支所
⑧新たなインターチェンジを利用したまちづくり	山陰近畿自動車道に設置する新たなインターチェンジを活かした福部町のまちづくりを検討する。	新たなインターチェンジを利用したまちづくり 【公共交通の確保】		○29年度に策定した「福部町のまちづくり構想」に基づき具体的に検討 ○国県に対し引き続きインターチェンジ設置を要望	○29年度に策定した「福部町のまちづくり構想」に基づき具体的に検討 ○国県に対し引き続きインターチェンジ設置を要望	「福部町まちづくり構想」実施計画に組み込むとともに、国に対して引き続きインターチェンジ設置を要望				A.達成	3.現状維持	「福部町まちづくり構想」実施計画に基づいて取り組みを進めるとともに、国に対して引き続きインターチェンジ設置を要望	「福部町まちづくり構想」実施計画を策定し、具体的な取り組みを進めるとともに、国に対して引き続きインターチェンジ設置を要望	福部町のまちづくり構想実施計画は、新型コロナウィルスの影響により未実施となったものがあった。(21事業のうち12事業を実施)				C.未達	2.改善継続	・福部町まちづくり構想」実施計画に基づいて取り組みを進めるとともに、国に対して引き続きインターチェンジ設置を要望				C.未達	2.改善継続	・福部町まちづくり構想」実施計画に基づいて取り組みを進めるとともに、国に対して引き続きインターチェンジ設置を要望。				C.未達	3.現状維持	・福部町まちづくり構想」実施計画に基づいて取り組みを進めるとともに、国に対して引き続きインターチェンジ設置を要望。	・福部町まちづくり構想」実施計画に基づいて取り組みを進めるとともに、国に対して引き続きインターチェンジ設置を要望。				C.未達	3.現状維持	「福部町まちづくり構想」実施計画に組み込むとともに、国に対して引き続きインターチェンジ設置を要望	引き続き「福部町まちづくり構想」実施計画に組み込むとともに、国に対して引き続きインターチェンジ設置を要望		福部町総合支所